

公益財団法人日米教育交流振興財団  
2019年度事業計画書  
自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

## I 目的

日本と米国の学生、研究者等に対し奨学金援助を行うことにより、両国間の教育、学術、文化の交流を促進し、国際的人材の養成と日米相互理解の増進に寄与することを目的とする。

## II 事業活動

### 1. 奨学生の奨学金支給と援助事業

#### (1) 奨学金及び航空券の支給

##### ① 奨学金の支給

フルブライト留学 2 年目以降の日本人並びに米国人留学生に対して奨学金を支給する。

日本人については当財団が該当年次のフルブライト留学生を対象に直接募集を行い、応募者の中から当財団の審査委員会が支給対象者を選出、当財団独自の奨学金を支給する。

米国人については日米教育委員会（JUSEC）よりフルブライト留学の延長を希望する候補者名簿を出してもらい、当財団の審査委員会が支給対象者を選出、延長期間の奨学金を日米教育委員会を通じて支給する。

本年度の支給対象人数と予定額は次の通りである。

日本人 4 名、米国人 4 名、合わせて 8 名に支給する。

支給合計額 1,390 万円

##### ② 航空券の支給

全日本空輸からの現物寄付である航空券をフルブライト留学生に支給する。  
本年度の支給予定は次の通りである。

米国人留学生渡航費 30 片道分(予定総額 1,200 万円相当)

#### (2) 募金活動

当財団創立 30 周年（2016 年）、フルブライト留学制度発足 65 周年（2017 年）を記念して、2017 年 3 月より進めている募金活動を当初予定（2019 年 3 月末迄）より 6 か月延長し、引き続き実施する（2019 年 9 月末迄）。さらなる奨学資金拡充のため、効果的な募金活動方法を検討していく。

## 2. セミナー事業

フルブライト留学経験者を中心に政治、経済、科学、文化などの分野に携わる有識者を招いて、本年度は2～3回の予定でセミナーを開催する。セミナーの開催は当財団のホームページで報知し、広く一般に公開する。講師と受講者の情報交換の場を設け、フルブライト留学の成果の社会還元と人的交流の促進、人材の育成を図る。

## 3. インターネットによる情報提供事業

情報提供事業の一環として、ホームページを活用。特に財団の主要事業である奨学金事業について、奨学生募集の詳細や募金活動の状況を発信する。あわせて、セミナー事業をはじめとする当財団の活動の概要や運営に関する情報を公表する。また、当財団のデータベースを活用して定期的にメール通信を配信することにより、情報の速報化に努める。

## Ⅲ 管理活動

### 1. 内部規程等の整備

業務処理の標準化、内部管理体制の強化を推進するために、各種規程等を整備し、より組織的な運営を目指す。

以上